



## 講師の指導に真剣な眼差し

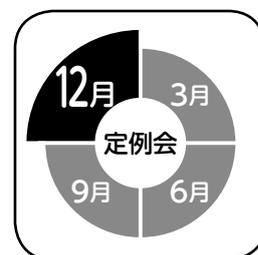
★冬休みこどもスキーレッスン

ここに  
注目!!

## 旧江光ビル跡地活用の基本方針が固まる

令和3年第4回定例会が12月14日に行われ、条例の制定、一部改正や各会計決算認定など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、4人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



令和3年第4回定例会では  
こんなことが決まりました！

# 旧江光ビル跡地活用基本計画策定等 総額1億1,848万円を補正

## 補正予算

### <専決処分>

- ◇令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付（先行給付金））

4,434万8千円（全額国庫支出金）

国の新型コロナウイルス経済対策として、児童手当の所得制限以下の世帯の18歳以下の子ども一人につき、10万円相当の給付を行う事業を早急に取り進めるため、専決処分をしたもの。

### <一般会計>

- ◇旧江光ビル跡地活用基本計画策定

104万5千円（全額一般財源）

跡地活用の基本方針が定まり、当初の想定を上回る規模のため、計画策定委託料を増額するもの。

- ◇生活交通路線等維持費補助

1,949万2千円（全額一般財源）

檜山海岸線や江差八雲線等の生活路線維持のために補助するもの。

- ◇在宅型総合福祉施設管理

105万5千円（全額一般財源）

燃料価格高騰による燃料費の増額。

- ◇学童保育所備品整備

14万8千円（その他特定財源他）

企業版ふるさと納税を活用し、町立学童保育所へ加湿空気清浄機を購入。

- ◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保（3回目接種）

2,277万4千円（全額国庫支出金）

3回目接種のための、看護師報酬やコールセンター委託料等の経費。

### <公共下水道事業特別会計>

- ◇新給食センター公共柵新設工事

500万円（全額その他特定財源）

現地調査により当初想定ルートを変更する必要があり、それに伴う工事費の増額。

## 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業

- ◇新型コロナウイルス感染拡大防止対策Web会議システム拡充事業 90万7千円（全額国庫支出金）  
役場庁舎一室をWeb会議室として整備。

- ◇江差町公共交通事業者緊急経済対策支援事業 270万円（全額国庫支出金）

公共交通機関の事業継続のため、車両台数1台につき30万円を交付するもの。

- ◇町内会及び自治会への活動支援事業 322万円（全額国庫支出金）

新しい生活様式に則した感染予防対策整備のため、1団体10万円を交付するもの。

- ◇農業経営持続化支援給付金事業 1,000万円（全額国庫支出金）

農業経営の維持、安定化を図るため、1世帯1人に一律3万円の均等割と生産費目別に10アールにつき2千円等給付するもの。

- ◇漁業経営持続化支援給付金事業 731万円（全額国庫支出金）

漁業経営の維持、安定化を図るため、一律3万円の均等割と保有漁船のトン数規模により5万から20万円を給付するもの。

- ◇コロナ禍における文化保存伝承支援事業 150万円（全額国庫支出金）

中止となった文化保存伝承の練習発表の機会を創出するため、観光コンベンション協会へ補助。

- ◇冬期間における子ども等の居場所づくり事業 125万9千円（全額国庫支出金）

運動公園駐車場に雪山で滑り台を製作する経費。

- ◇公共施設を活用した子ども等の居場所づくり事業 144万4千円（全額国庫支出金）

文化会館大ホールで大型遊具をレンタルし、遊び、交流の場を設ける経費。

- ◇トイレ洋式化改修工事（集会施設、老人福祉センター、町立保育園、檜山地域人材開発センター、江差商工会、運動公園）

計 2,027万8千円（国庫支出金他）

感染拡大防止のため和式トイレを洋式トイレに改修する経費。

# 第4回定例会 こんなことが決まりました！

## 条例制定

◇江差町企業版ふるさと納税地方創生基金条例の制定

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業を行うための基金設置のため

## 人事

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

若濱 博 氏  
(陣屋町・73歳)  
任期は令和6年  
12月31日まで



## 条例改正

◇江差町国民健康保険条例の一部改正  
国の制度改正に伴う関係条文の改正

## その他

◇江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センター他の建設工事委託に関する協定の締結

◇江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センターの建設工事委託に関する協定の締結

先に議決した協定の事業費変更に伴う協定の締結をするもの

## 補正質疑

「補正予算」(2Pに掲載)に対して質疑した内容

### 子育て世帯等臨時特別支援事業

問 自治体が現金での全額給付を希望した場合、国は基本的に認める方向で調整に入った。

5万円現金、残り5万円はクーポンではなく、全額現金給付を望んでいると思うが、町としてのスタンスは。

答 国会でも議論が重ねられ、日々変わる状況を見極めながら、江差町としては、クーポンではなく、現金での支給を考えている。

ただ、現金10万円の一括給付は事務が追い付かず、年内給付を目指すためにも、先に5万円を給付する手続きを進めている。



### 冬期間の子ども居場所づくり事業

問 1月から2月の間で2週間程度の期間を予定しているが、短い気がするのですが、もう少し長くできないか。

また、文化会館での居場所づくりも同様に、期間の見直し検討はできないか。

答 雪山が解けたり、メンテナンスも考えるとおよそ2週間程度とし、管理人での監視もしなければならぬ。

文化会館での実施は、雪山の後の2週間を想定。遊具のレンタル等の予算的な面も含め、内部協議した結果で期間設定した。



### トイレ洋式化改修工事

問 トイレの洋式化改修工事では、今後必要な施設はどの程度残っているか。

また、かもめ島の改修はないが、どのように考えているのか。

答 残りは、かもめ島、松の岱公園、港湾センターの3か所。

かもめ島トイレは、冬場の工事は厳しく今回は見送った。かもめ島の全体環境整備は検討しなければならないが、木製遊歩道等相当経費がかかる。来年度以降の予算で検討する。



### 道道江差停車場線の交差点改良

問 旧江光ビル跡地整備と合わせて、この急カーブ解消はしないということの良いか。

一緒に解決するのかもしれないのかははっきりすべき。

旧江光ビル跡地の地盤調査費は必要なのか。ビル解体時に地下は耐圧版になっている。

答 一度、函館建設管理部に相談をしたが、当時と状況が異なっていることから、改めて相談する必要性が出てくると認識している。

基本計画策定段階に、道生活環境課や建設指導課の指導を受け、適切に対応する。当時の業務成果品や携わった業者、発注者等にも確認して進める。地下埋設物を部分的にくり抜き、どれくらいの建物が建設できるか調査したい。

問 2階くらいの建物であれば、地盤は良いので調査は必要ない。

無駄な経費は使わない方が良い。

答 どれだけの過重に耐えられるか調査し、十分注意してやらなければならない場所である。



# まちのふところ具合は

# 94億円の使い方をチェック

議長と監査委員を除く全議員で構成

令和2年度江差町各会計決算審査特別委員会（萩原 徹委員長）は、6月15日の委員会設置から10月15日までに5日間、委員会を開催し、令和2年度各会計の歳入歳出全般に係る執行状況について、各課から説明を受け、町政の発展と町民福祉の向上に資する的確な執行について慎重かつ詳細に審査しました。

会計名	歳入	歳出
一般会計	64億8,269万円	62億3,812万円
特別会計		
国民健康保険費	7億8,090万円	7億7,734万円
後期高齢者医療	1億3,003万円	1億2,935万円
介護保険	11億3,998万円	11億0,650万円
公共下水道事業	3億9,082万円	3億9,082万円
公設地方卸売市場事業	966万円	966万円
港湾整備事業	402万円	102万円
奨学金	306万円	304万円
水道事業会計	収益合計 4億9,142万円	費用合計 3億7,452万円
合計	94億3,258万円	90億3,036万円

## 各課質疑

各委員から各担当課に対して、個別に質疑した内容

### 総務課

問 コロナ禍で集中的な業務が見受けられる。ストレスチェックで特徴的な事は。

答 高ストレスは11名。業務量の増で身体的負担が増加している。

問 危険空き家対策で予算執行がない理由は。

答 特定空き家の解体時に補助金が出る。

### 財政課

問 住宅管理の未収金対策で、私債権であるが、実態をみて整理する必要があると思うが。

答 未収金の管理は進んでおらず、努力する。

### まちづくり推進課

問 コロナ対策で濃厚接触者等の一時退避場所の状況は。

答 直接コロナ患者と面談することはない。感染者対応は北海道で対応。

### 高齢あんしん課

問 敬老事業の町からくる名簿は年齢と名前のみ。町営住宅や施設入所者であるとかは知り得ないので、連携の中で事業展開できないか。

答 住所までほしいという申請であれば提出できる。

### 産業振興課

問 狩猟免許取得補助のみではなく、くくり罠は公共的対応として予算化すべき。

答 罠は予算化しており今年度も購入済。

問 森林環境譲与税は、民有林等に活用すべき。

答 私有林のアンケート調査や木育活動に活用。

### 町民福祉課

問 他町では民生委員が通常業務以外で見守りをして、社会福祉協議会でも対応している。

答 コロナ禍で定例民協を開催できていないが、民生委員個々から情報は随時入ってきている。関係機関と情報共有を図り進める。

### 健康推進課

問 がん検診受診率を上げる対策はないか。

答 小中学生からの働きかけも検討していく。

### 追分観光課

問 追分会館の自動販売機は少し工夫できないか。

答 確認し検討する。

### 税務課

問 滞納者の増加に対する対応策は。

答 新規滞納者が出ないように対応している。

### 学校教育課

問 奨学金貸付償還金が多額に残っているが整理は。

答 私債権であり裁判所の手続きも必要。

### 社会教育課

問 既存の文化財保存は今のままでいくのか。

答 保管方法等について問題意識は持っている。

# 令和2年度決算を認定

## 決算審査特別委員会報告

第4回定例会で、萩原委員長が、決算審査特別委員会における委員長報告を行いました。



萩原 徹 委員長

### 〔報告内容〕

各会計決算は、すべて認定すべきものと決定した。なお、次の点について意見、要望があったことを申し添える。

#### ◆有害鳥獣対策について

住宅周辺でのヒグマ目撃情報が増加しており、人的被害が発生する前に捕獲のための技術者の育成・確保が急務で、より実効性のある対策が必要。  
シカによる農業被害も年々増加傾向で、早急な対策強化が求められている。

#### ◆檜山地域人材開発センターについて

現在は職業訓練や宿泊施設、貸館などに活用され、今後は災害時の避難所とし

での利用も想定される。

施設の老朽化対策や防災機能強化等を取り進める上では大規模な改修等も考えられ、将来的な利活用の方向性を示す必要がある。

#### ◆高齢者の見守りについて

様々な制度・サービスを利用されている方は見守りの体制が執られているが、これらを利用していない制度的な繋がりが無い高齢者への対応が不足している。町内に複数ある組織や団体が垣根を越えて、見守り対応や体制づくりを構築していく必要がある。

#### ◆教職員住宅の今後の方向性について

既存の住宅には老朽化し居住困難なものが多数見受けられる。民間賃貸住宅の状況や教員ニーズなどを踏まえ、今後の教職員住宅の在り方を検討すべき。居住困難なものには用途廃止や解体等、計画的な整理を行っていく必要がある。

## 総括質疑

町長・教育長に対し、萩原委員長から総括して質疑した内容

### 有害鳥獣対策は

問 住宅周辺でヒグマ目撃情報が増加し、人的被害が出る前に狩猟免許や猟銃所持許可者の増加等、早急な対策が必要では。

シカの農業被害も増加傾向。対策強化が必要ではないか。

答 箱罟設置や周辺見回りを実施。狩猟免許所得補助制度を創設し、担い手確保に努めている。広報紙等で制度周知を図る。

問 箱罟設置が今以上に必要では。

答 行政として最大限の努力をする。

### 檜山地域人材開発センターは

問 建設後、かなりの年数が経過。現在は職業訓練や宿泊施設、貸館等に活用され、今後は災害時の避難所としての活用も想定される。大規模改修等も必要で、北海道と協議・要請する必要があるのではないか。

答 校舎は昭和59年3月、寄宿舎は同年12月に建設され、築37年が経過。

老朽化対応や災害時避難所としての活用も想定され、運営協会側と意見交換する。

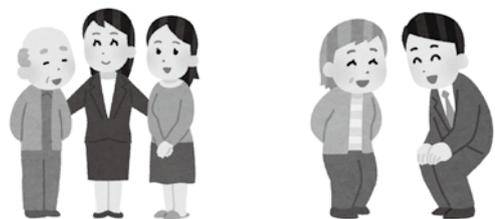


### 高齢者の見守りは

問 人口の約4割は65歳以上。介護保険制度等により見守り体制が執られている方は良いが、制度的な繋がりが無い高齢者への対応がない。高齢者見守り対応や体制作りを民生委員や社会福祉協議会と協議対応の検討をすべきではないか。

答 昨年12月に新型コロナウイルス流行に伴う地域課題の実態把握調査を実施。声掛けや電気確認等を行っていることが把握できた。

地域の中でお互いに見守り合う体制構築には、地域の既存団体の協力が不可欠。地域全体の協同で見守れるよう更なる地域福祉の向上を図る。



### 教職員住宅の今後の方向性は

問 老朽化や使用不可能な教職員住宅が増加しており、用途廃止や解体等が必要ではないか。今後の方向性は。

答 昭和年代整備の22戸は今後の改修は困難で、解体の必要性を認識している。

住宅解体後の用地活用のため、財産の用途廃止も選択肢の一つ。要請ニーズ等踏まえ、今後の方向性を協議する。

# 監査委員からの審査意見

## ◆総括的事項

### <地域の現状>

- ・新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、本町においても多大な影響を受けている。

### <財政運営>

- ・経常収支比率は減少しているが自由に使える財源が少なく、公債費負担比率も健全財政の警戒ラインを超過し、一般財源の公債費への割合も高く、未だ財政が硬直化している。
- ・地域発展の基準となる社会資本整備は重要な課題で、今後も公共整備は必要とされるため、地方債は重要な財源だが、財政を圧迫しないよう身の丈にあった計画的な運営が必要。

## ◆予算執行等について

### <未収金対策>

- ・全般的に前年より収納率が向上しているが、1億円を超える未収金があり、収納体制の確立と滞納整理に努めること。

## ◆むすび

- ・新型コロナウイルス感染症の猛威により社会・経済・環境に負の影響が出ている状況下ではあるが、組織の現状分析、改善を持続的に展開しながら、町民生活の充実・向上に向け、町民の皆様とともに輝く未来を実現されることを願う。



町政、教育行政全般における町三役への総括質疑の様子

「監査委員」は、町の財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理などが、法令等に従って適正におこなわれているか、効率的効果的かどうかという観点から、議会とは別組織として各種監査や審査等を行う機関です。

議会に対し、令和2年度各会計決算は適正としながらも、何点か意見が付けられました。

## 第四回臨時会

11月26日に第4回臨時会が行なわれ、一般会計の補正等について審議し、原案どおり可決、閉会しました。内容は次のとおりです。

### 「一般会計専決処分」

- ◆江差新栄テレビ中継局アンテナ補修工事 (全額一般財源) 66万円

- 定期保守点検時にアンテナ基部に亀裂を確認し、早急に対応するため、専決処分したものを。

### 「水道会計専決処分」

- ◆遠距離導水管緊急遮断弁室落雷被災復旧工事 (全額一般財源) 2,131万8千円

- 上ノ国ダムからの導水管緊急遮断弁室のテレメーター伝送装置が被災し、代替品による仮復旧し、早急に本復旧するために専決処分したもので、保険補てんされる見込み。

### 「一般会計補正予算」

- ◆新型コロナウイルス感染症検査費用助成 (全額国庫支出金) 274万円

- 無症状で検査を希望する町民等に対し、抗原検査キット購入費用の一部を助成。

- ◆工工町、江差、飲食店応援券事業 (全額国庫支出金) 550万円

- 飲食店の利用促進支援のため、プレミアム付き応援券を販売する経費。

- ◆令和3年度燃料費等高騰緊急対策 (全額一般財源) 1,286万5千円

- 灯油価格等の高騰により、非課税世帯へ現金1万円の給付金を支給するもの。

- ◆地域介護・福祉空間整備等施設整備補助 (全額国庫支出金) 89万9千円

- グループホームなごみが実施する老朽化した施設改修工事に対する交付決定があったもの。

### 「工事請負契約締結」

- ◆町道陣屋椴川線第3椴川橋架換工事 契約金額 1億7,600万円

- 契約相手先 前田組・道南土木・宏栄建設 経常建設共同企業体



議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(再)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

## 第4回定例会 行政報告

定例会で次のとおり、町長が行政報告をしました。



- 1 新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)について  
3回目接種は、2回目接種から8カ月以上経過した18歳以上の希望者に対して接種。接種日程や接種券の案内時期など、決定次第随時町民周知する。
- 2 令和2年国勢調査について  
11月30日に公表され、人口は7,428人、(男性3,569人、女性3,859人) 前回調査より9.9%の減。
- 3 地域公共交通事業に係る実証実験の実施について  
地域公共交通事業に係る実証実験を実施。サツドラホールディングス株式会社が主たる事業者として、北海道経済産業局の事業に応募。町も協力することとした。
- 4 寄附採納について
  - ・花王グループカスタマーマーケティング株式会社  
北海道支社 様  
自社製品アタックZERO2,000本、ヘルシア緑茶1,000本(健康や自然環境の向上、地域経済の活性化などの事業のために)
  - ・ネットヨタ函館株式会社  
代表取締役社長 高木 和良 様  
現金10万円(企業版ふるさと納税)、足踏み式消毒スタンド3台
  - ・ライフプラス 代表 西谷 元宏 様  
車椅子1台(江差町文化会館に設置)
  - ・明治安田生命保険相互会社  
函館支社長 石桁 健司 様  
現金30万7千円(私の地元応援募金として)

### 意見書を提出

12月定例会では5件の意見書を提出し、4件が可決され、関係行政機関へ提出しました。

- ◆地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書
- ◆北海道農業の基幹作物てん菜の生産を守ることを求める意見書
- ◆高齢者の医療費窓口負担の2割化を中止し、「原則1割」の継続を求める意見書
- ◆保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書



# 眞議員(無党派)

# 塚本

12月定例会 一般質問

## 3回目のワクチン接種計画は 答 広報等で周知する

第6波へ備え、新型コロナウイルススワクチンの3回目追加接種がスタートしている。

新変異株オミクロン株が世界で広がる中、追加接種による感染再拡大を抑えることが非常に重要。

町も第2回目の接種後の間隔を基本とした接種計画を早く町民に示す必要がある。

3回目の接種計画の説明を。

**町長** 3回目接種対象者は、2回目接種から8か月以上を経過した18歳以上で、接種を希望する方。

接種は、1回目、2回目と同様に行う予定。医療従事者は12月から、高齢者施設は2月下旬からで調整中。

65歳以上の集団接種は、効率的なバス運行などを考慮して決定し、64歳以下の一般の日程も決定次第、広報やホームページ等で周知する。

接種券の発送と予約

## 農業分野へのIT技術導入 答 関係機関と情報を共有

農業分野では、後継者不足や高齢化による労働力不足が大きな課題で現状も変わりにない。

一部の大型農業者ではIT技術の一部であるドローン等の導入も進んでいるが、なかなか広くIT技術が農業者の中に広がっている現状ではない。

町は今の現状をどう把握しているか。今後の推進方策をどう考えているか。

町長

第6次江差町総合計画で、スマート農業の推進を重点施策と位置づけ、2本の事業展開を進める。

一つは、土地利用型農業における農作業の効率化や、精密化に対応し得る農地の区画形状や排水性等の改良を行う農地整備。

二つ目は、ICT技術を活用した農業機械導入の促進と環境の整備。

現在、農業用ドローンを活用している生産者が若干名いるほかは、活用の実態はない。

農業者とのまちづくり懇話会では、ICT技術を含む、農業機械の導入に支援を求める声が多くあった。

## テレワークの誘致対策は 答 受入体制を整備する

コロナ禍において、地方で仕事をするといい大企業を中心とした業務形態が進んできている。

テレワークの導入に積極的な都市もあるが、町ではどのような誘致対策をしてきたか。

また、今後の対応は。

町長

昨年度より北海道型ワーケーション事業に参画し、各種のP

R活動を実施。主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点を設ける二地域居住という概念も生まれ、全国二地域居住等促進協議会へ昨年3月に加入した。

北海道ワーケーション事業に参加している函館市、上ノ国町、厚沢部町、今金町との枠組みによるモデルプラ

ンを磨き上げ、誘致していく。

檜山振興局は、独自の組織、ひやまワーケーション推進協議会を来年1月設立する。

江差町も参加し、各町と連携を深め、取り組みを推進する。

さらに、町独自のワーケーション実証実験事業も制度構築を検討し、町有施設を活用しながら受入体制を整備する。



接種希望者へ計画的な接種を



# 出崎 太郎 議員 (無党派)

12月定例会 一般質問

## 海底博物館の建設は

### 答 活動は住民主体で

今年の前澤友作氏ふるさと納税募集について、本町の若手職員による「ペリオン江差」は、海底に保存されている開陽丸船体の一部が見られる海底博物館の建設を提案した。

募集では、独自の地域の資源を生かしたスペシヤルな観光体験を求めており、タイムリーな提案と評価する。

日本初の海底遺跡調査の延長線上にあり、本町の取り組み「かもめ島マリリンピング」海と日本のプロジェクト」との観光連携も期待でき、積極的な展開を望む。

仮に応募が不採用でも、町単独で海底博物館建設に取り組む考えはあるか。

将来、対象を北の日本海の海底の生態が眺められるような、海中展望施設にまで広げる考えはあるか。

海中の観察が期待でき、学習の場の提供にもなるが如何か。

**町長** 今回の提案は建物建設に固執しているのではない。

ダイビングなのか潜水艇なのか、他に方法もあるかもしれないが、海底遺跡開陽丸本體を見ることが、見せるといったリアルな部分、仮想空間を活用したバーチャルな部分といった、これまでにない夢のようなアイデアの総称を海底博物館とネーミングしたものであることを理解頂きたい。

不採択となっても、何かしらの形で海底遺跡開陽丸に再び脚光が当たるような取り組みの中で生かされていくものと考えている。

小学生からだと思いが、海の中が見えるタワーを作ってほしい。

また、水族館といった書き込みがあった。

次代を担う子供たちをはじめ、地域の人々に愛される取り組みが最も魅力ある地域資源になると考えており、

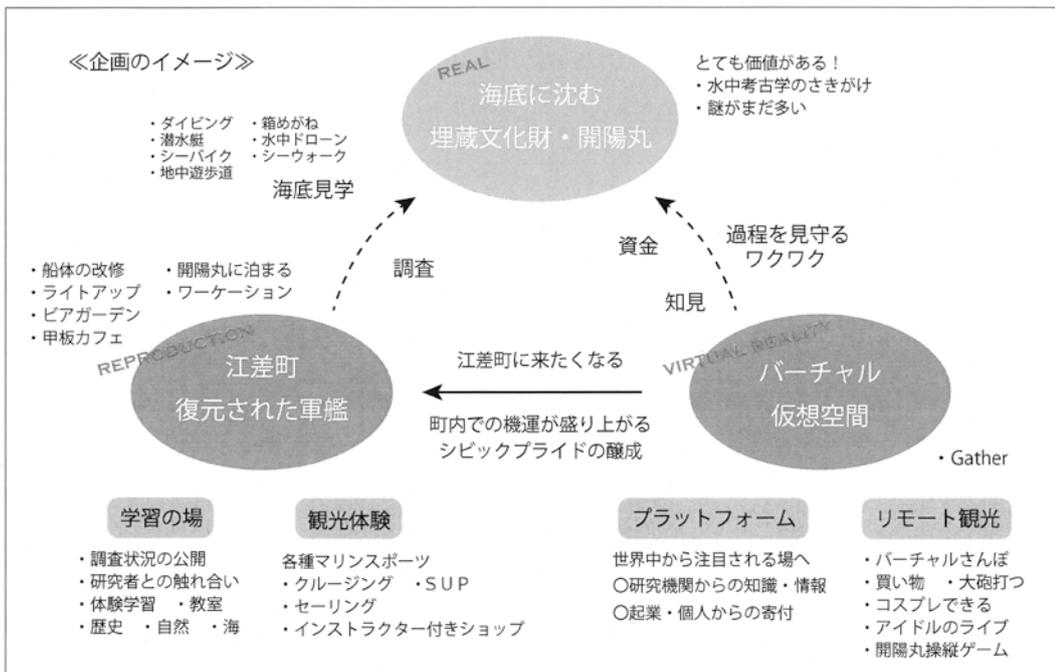
建物にこだわることなく、北の江の島構想の中でふるさと海を題

材としたマリンアクティビティや体験学習といった形で実現でき

るように考えている。

テーマ：『まだ見ぬ神秘、“海底博物館”をつくりたい！』

2021.10.29



海底博物館の建設を目指す  
応募した計画案 (一部抜粋)

+αの効果 企業誘致一雇用の場創出  
移住定住



# 飯田 隆一 議員 (無党派)

12月定例会 一般質問

## 運動公園利活用と安全対策

### 答 利用促進を図る

今回、冬期間における子ども居場所づくり事業で、運動公園を活用して、遊び場を作る事業も提案された。

長年、町には冬期間の遊び場がないという声を受け、児童生徒や子育て世代に大変歓迎されるタイムリーな事業だと評価する。

大いに宣伝をして、運動公園の活用を図るべきと考えるが、教育長の所見は。

次に、運動公園の外周の遊歩道は、ランニングコース、散歩道として多くの町民が利用されている。

ただ、街路灯が故障し、夕方、夜間では真っ暗で大変危険であると指摘も寄せられている。

特に周辺では、熊の出没情報もあり、大変危険である。

街路灯をLEDに新設、最低でも現状の街路灯を補修して、利用者の安全安心を図るべきと考えるが、教育長の所見は。

## 海底博物館構想の協議は

### 答 概ね理解を頂いている

去る全員協議会において、海底博物館構想が示された。

資金計画等々を含めて、ピリオン江差等と協議されたと考えるが、この内容は。

町が進める以上、関係各課、開陽丸財団との連携協議が十分にされたうえで応募か。

将来的には広大な構想であると理解するが、第6次総合計画や、特に北の江の島構想、江差町歴史文化基本構想とどのように整合性を持たせるのか。

**町長** 先全員協議会で応募のきっかけや内容等について説明した



江差沖にはまだ大量の開陽丸遺物が

が、そもそも海底博物館の建設ありきで進めてきたものではない。

前澤友作氏のふるさと納税10億円の活用策として、町内外からの意見を募り、役場の若手職員中心のチームが活用案として練り上げたもの。

プロセスから提案内容まで、すべてオープンにしている。

資金調達の質問であるが、10億円を活用するための提案であり、基本的には頂けることを前提としたもの。

関係課や財団との協議は、ふるさと納税担当のまちづくり推進課、観光担当の追分観光課とは事前に相談協議し、役場若手チームに一任してもらうことを了承してもらい、一般財団法人開陽丸青少年センターの理事会及び評議委員会へも説明し、概ねの理解を頂いている。第6次総合計画等との整合性は合致する。寄付が決まれば予算

化が必要で、議会の議決も必要。

10億円を頂けたら、どういう体験観光の夢をかかなえるか。というアイデア募集したものであり、もし提案が採用された場合には、具体的な寄付額が判明次第、更には寄付額が少額になった場合にも寄付額にあわせた提案内容の見直しが必要となる。

**再** 10億円は無理。

テレビ出演で、応募した自治体に均等に配布する案を出しており、10億円をもらい構想を進めるといふ自体が無理。多少金額が落ちても進めていく、そういう決意が必要。

最初は小さくても、将来の構想に向かって着実に進めていく計画が必要。

**副町長** 均等に割り振られるという情報は把握してない。

金額が決まり次第、議会にも報告し、予算化に向けて議論する。



# 小野寺 真 議員 (日本共産党)

12月定例会 一般質問

## 下水道計画見直しを

### 答 協議検討を加速する

下水道の計画は抜本的な見直しが必要。

照井町長になってから再開した。高齢化が進んでおり、改めて継続意向調査を行い、工事を再開したのか。

再開後、順次完成した地域があるが繋いだのか。民間の現状は。古い町営住宅を繋がない根拠、要綱あるか。合併処理浄化槽に切り替える英断を。過去5年間、新築民

間住宅で合併処理浄化槽の設置は。

北部の問題は。

**町長** 個別の意向調査はしていない。

対象住宅35戸中、5戸の新規接続で、接続率は14・3%。

水洗化義務の免除要綱等を定めていない。

公共下水道計画の見直し、区域の縮小や合併処理浄化槽への切り替え、助成制度も議論が必要。

## 水道基本料金引き下げを

### 答 引き下げは難しい

水道料金は使う量の刻みによって違う。

水道の使った量で、全国、全道的にどうなっているか。

単身高齢者は水道量使うの少ない。基本料金の引き下げ、負担の軽減を出来ないか。

**町長** 上ノ国ダム事業の財政負担が料金を押し上げている要因。

使用水量での料金設定の順番は、10トンでは全国高い方から14番

目、全道は6番目。15トンは全国9番目、全道5番目。20トンは、全国3番目、全道3番目。

料金の引き下げは難しい。

引き続き効率的な水道事業の運営に努める。

**再** 基本料金417円下げるとしたら、年間どれくらい予算か。

**建設水道課長** 年間、概ね360万円程度。

## 加齢性難聴への対策を

### 答 地域包括で対応

障がい者手帳による補聴器支給の使用状況をどう把握しているか。

加齢性難聴で、法律に基づかず買いたラブルが起きているが、どこまで把握しているか。

町長公約不幸ゼロに、加齢による難聴の生活困難者ゼロ追加を。文化会館等にヒアリンググループの設置を。

**町長** 補聴器支給者は

現在11人。概ね順調に利用されている。

補聴器販売業者からは、アフターケアなどを実施していると聞いている。

地域包括で、ケースに応じて寄り添った支援を進めている。

ヒアリンググループは試験的な実施を検討。

**再** 第8期介護保険高齢者福祉計画アンケート

新規民間住宅の合併処理浄化槽設置割合は、計画区域外において新築の14件中12件、率にして86%が設置。

区域外の合併処理浄化槽設置支援策はない。

下水道事業の見直し、支援策の在り方は、協議、検討を加速する。

**再** 手続き手順を含め、いつから見直しに入るのか。

**建設水道課長** スピード感を持って対応する。

## スクールカウンセラー配置

### 答 毎月派遣を受けている

スクールカウンセラーの位置付けは大変重要だが常設ではない。

専門的な機関や北海道等から、定期的、集中的に派遣してもらわない限り、町の小中学校の色んな難題、課題は対処できないのでは。

**教育長** 現在、北海道公立学校スクールカウンセラー設置要綱に基づき、毎月、中学校区

ごとにスクールカウンセラー各1名の派遣を受けており、関係団体との連携など、各種取り組みを通じ、困難案件に対処していく。

**再** 町長も含め全力をつくして頂きたい。

**教育長** 安心して相談できる体制作りを意を

つくりたい。**町長** 必要な予算化は積極的に考えていく。

定例会 議案審議 行政報告 一般質問 委員会 出欠報告

# よりよい町づくりのために

## 総務産業常任委員会『かもめ島周辺の拠点化施設に関する事務調査』

総務産業常任委員会（小梅洋子委員長）は、令和3年第3回定例会で事務調査をおこし、5回会議を開催し、担当課の説明を求めるとともに、先進地行政視察（秩父別町、留萌市、伊達市）を行い、調査した結果について、次のとおり意見を付して報告した。

平成30年に、かもめ島周辺の歴史・文化資源を活用し、さらに新たな魅力を付加価値させて、町民や観光客などが集い、交流人口の拡大と、江差町の最重要地区のひとつである地区周辺の活性化を目指すことを基本理念とする「北の江の島構想」が策定された。

その後、議会においては、各議員の一般質問や各委員会の事務調査などでも、構想の早期具現化に対し、種々の考えを提示されているが、今日まで、江差町としての基本構想が示されていない。

しかし、本年第2回定例会において「北の江の島拠点施設整備基本構想」策定の予算化がされた。

かもめ島周辺地区の拠点として、何を優先化すべきか。地区全体構想を策定するうえでも、極めて重要な先駆的事業として、拠点化に相応しい事業内容を調査する。

### 《意見》

このような認識下において、拠点施設整備基本構想が策定途中であることを踏まえつつ、以下の点について、意見する。

- 1) かもめ島を象徴空間とし、呼び込むターゲット層を道南地域に絞り、他市町村にない特色を持つ、子ども達の夢を叶えるような施設を配置することで、かもめ島を中心とした魅力ある地域としての相乗効果が見込め、更なる付加価値を持たせられると考える。
- 2) 体験型観光とリンクさせ、家族で一日中楽しめるイベントや遊具等の施設整備を進め、敷地の面積や各種補助金を有効的に活用し、決して中途半端な施設にはしてはいけないと考える。
- 3) 「目的地にしてもらう道の駅・海の駅」を目指し、常に町内外の利用者の目線に立ち、利用しやすい施設とすべく、継続的に多様な意見を拝聴しながら実施していくべきである。
- 4) ハロウィンやクリスマスなどの年中行事でも、大々的な飾りつけをする等、地域全体として盛り上げる仕組みを考慮していく必要がある。
- 5) 施設整備にあたって町財政の負担となるのは、イニシャルコストやランニングコストである。企画・設計・建設・運営・修繕などのライフサイクルコストを見据える事が重要であり、効率的かつ戦略的な施設運営や、耐久力が高く維持管理が容易であることを考慮すべきである。



子供屋内遊技場「ちっくる(秩父別町)」担当者から説明を受け質疑する各委員

### 《総括》

平成30年策定の「北の江の島構想」において、開陽丸（マリーナ）エリアでは、整備計画案として2つの構想案が掲載されており、また港湾エリアでは港湾計画や関係機関等と協議しながら今後の利活用を検討していくとある。

今般の「北の江の島拠点施設整備基本構想」策定における事前説明等において、開陽丸（マリーナ）エリアでは多少方向性に変化が見受けられるものではあるが、港湾エリアである南ふ頭の具体的な利活用の方向性は未だ示されていない。この港湾エリアをどのように利活用していくかで、拠点施設整備の考え方が全く異なるものとなる。

翌年、拠点施設整備基本構想案が提示されるものと思われるが、これにより開陽丸（マリーナ）エリア及び港湾エリアの利活用に係る一定の方向性が示されるべきであり、開陽丸（マリーナ）エリアの整備のみに特化するものであれば、現状とあまり変わらない、施設が新しくなっただけのものになってしまう可能性がある。

「かもめ島周辺地域」を結果として、どのように整備を行おうとしているのか、未だ明確な全体像が見えない中ではあるが、江差町最大の魅力ある中核地区として、今までにない新たな価値を生み出し、多種多様な人々に利用して貰えるよう、斬新な発想により、江差町にしか無い、期待や喜び、楽しさなどを満足させるような「北の江の島構想」とするべきである。

## 社会文教常任委員会『学校施設整備に関する事務調査』

社会文教常任委員会（小野寺真委員長）は、現在、担当課からのヒアリングを行うなど、継続して調査を行っています。

# 全員協議会を開催しました！



10月29日、11月26日に開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

## 10月29日

### ・旧江光ビル跡地活用事業基本構想最終案の方針について

今年3月4日に示した「旧江光ビル跡地基本構想」の最終案作成に向けた方針が固まった。「コミュニティ活動を後押しする機能」と「町民の健康づくりを促進する機能」の二つを掲げ提案し、各種団体と意見交換をしてきた結果、一定程度の機能の集約と選択が必要と決断。トレーニング機能は外し、現在の「まるやま」で充実を図ることで、構想を修正する。駐車場を含めた屋外スペースを確保しつつ、汎用性の高いコミュニティスペースを確保する内容で見直し方針。

## 11月26日

### ・旧江光ビル跡地整備基本構想最終案について

最終案としての構想は、この間行ってきた議論の積み重ね、意見要望を反映できるよう内容を整理した。次の行程は、基本計画・基本設計となり、設計条件等の整理段階で議会には図面を示しながら具体的な議論をする。

### ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

新型コロナウイルス地方創生臨時交付金の活用事業について、第4回臨時会に提案する事業内容について説明。

# 出欠状況をお知らせします！

令和3年10月1日から12月31日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長 打越東亜夫
		小梅洋子 (委)	小林くに (副)	飯田隆一	室井正行	塚本眞	大門和幸	小野真 (委)	出崎太郎 (副)	薄木晴午	西海谷望	萩原徹	
第4回定例会	12月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回臨時会	11月26日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	10月29日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月26日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	10月7日	○	○	○	●(私用)	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	11月26日	○	○	○	●(私用)	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	12月1日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	12月6日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
社会文教常任委員会	11月9日	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	○	●(私用)	○	○	斜線
	11月15日	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	○	○	○	○	斜線
決算審査特別委員会	10月13日	斜線	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	斜線
	10月14日	斜線	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	斜線
	10月15日	斜線	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	斜線
議会広報特別委員会	10月7日	斜線	○	斜線	斜線	○	○	斜線	○	斜線	○	斜線	斜線
	10月15日	斜線	○	斜線	斜線	○	○	斜線	○	斜線	○	斜線	斜線
	10月21日	斜線	●(私用)	斜線	斜線	○	○	斜線	○	斜線	○	斜線	斜線
議会運営委員会	11月26日	斜線	斜線	○	●(私用)	○	○	斜線	○	斜線	○	斜線	○
	12月6日	斜線	斜線	○	○	○	○	斜線	○	斜線	○	斜線	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（傷病・出産・育児・看護・介護・私用）

総務産業常任委員会は、令和3年11月4日に秩父別町と留萌市を、翌日5日には伊達市を先進地視察しました。

当委員会では、「北の江の島拠点施設整備基本構想」策定が予算化され、「四季を通じて、町内外の子どもや親子連れ、若者が目指す施設の整備を目指す」との考えが示されたため、大型遊具を取り入れて施設づくりをしている先進地を視察研修に選びました。整備担当した職員に直接伺うことにより、整備前と後の問題点や課題を聞くことができ、「入館料を徴収するという発想自体がない」等、その町の町政による考え方の違いも感じられました。



## 議会の動き

- |              |   |
|--------------|---|
| 10月29日       | ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）<br>・旧江光ビル跡地活用事業基本構想最終案の方針について  |
| 11月4日<br>～5日 | ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席2名）<br>・行政視察（秩父別町、留萌市、伊達市）  |
| 9日           | ◆社会文教常任委員会（出席4名、欠席1名）<br>・学校施設整備に関する事務調査  |
| 15日          | ◆社会文教常任委員会（出席5名）<br>・学校施設整備に関する事務調査   |
| 26日          | ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）<br>・第4回定例会の運営について（1回目）<br>◆全員協議会（出席11名、欠席1名）<br>・旧江光ビル跡地整備基本構想最終案について<br>・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について |
|              | ◆第4回臨時会（出席11名、欠席1名）<br>◆総務産業常任委員会（出席5名、欠席1名）<br>・かもめ島周辺の拠点化に関する事務調査   |
| 12月1日        | ◆総務産業常任委員会（出席6名）<br>・かもめ島周辺の拠点化に関する事務調査   |
| 6日           | ◆議会運営委員会（出席5名）<br>・第4回定例会の運営について（2回目）<br>◆総務産業常任委員会（出席6名）<br>・かもめ島周辺の拠点化に関する事務調査  |
| 14日          | ◆第4回定例会（出席12名）  |
| 1月11日        | ◆広報特別委員会（出席5名）<br>・2月号議会だよりについて（1回目）  |

## みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は**3月**です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

議会の傍聴は簡単で、都合の良い時間で傍聴できます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

## 今号の表紙

### ☆小学生冬休みのスキーレッスン

上ノ国町湯ノ岱の上ノ国町民スキー場にて、江小17名、北小6名、総勢23名参加で、恒例の冬休みスキー教室が感染症予防対策を十分行いながら開催されました。

友達との遊びなどが出来ない中での久々の再会と野外でのスキー教室を待ち望み、江差スークラブの講師等が中心となり、スキーの技術レベルに班分けしてレッスンを実施。日頃の、運動不足も充分解消できたようです。



撮影のためマスク着用のまま通路側に移動して頂きました。

（撮影者：塚本 眞 議会広報特別委員会委員長）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。